「危ないぞ　夜の無灯火　透明人間」
平成６年度交通安全
大田区自転車安全日スローガン

久が原地区管内	人口	男	12,237人
		女	12,146人
		計	24,383人
	世帯		10,196世帯

平成６年３月１日現在

くがはら

発　行：わがまち大田久が原地区推進委員会
編　集：地域情報紙「くがはら」編集委員会
事務局：大田区久が原特別出張所
〒146大田区久が原2-19-3
（３７５２）４２７１

青い屋根の体育館ができました。

地域の学校、大森十中

体育館とプール改築に取りかかった平成四年の秋、建設機械のつめが体育館の最後の壁を突き崩しました。生徒の汗をたくさん吸った体育館のうめき声が聞こえてくるようでした。

工事の間、雨の日の体育は教室にマットを敷き、部活動には近隣の小学校をお借りするなどしてきました。大型機械による工事は遅々としてはかどらないように思えましたが、やがて巨大なクレーンが屋根の鉄骨を組み上げ、青い屋根や赤い外壁が見えるようになりました。工事現場からもれてくる明かりは、「一日も早く完成させたい」と工事を急いでくれている関係者の気持ちを伝えてくれました。

今年一月三十一日、生まれ変わった体育館とプールの検査が済んで学校に引き渡され、二月七日には新体育館で朝礼を行いました。初めて体育館に入場する生徒は、高い天井や輝くステンドグラスのドームを見上げて感激していました。その喜びを、工事に携わった方々に感謝の言葉と花束を贈って表しました。

体育館では毎日、キュッキュッと靴音が鳴り、掛け声が跳ね返り、ボールの音が響き生き生きと走り、跳ぶ生徒の影が踊っています。

こんな生徒の喜ぶ姿を、工事に関わってくださったすべての方に、そして保護者や地域の方にもご覧になっていただきたいと思います。

地域の願いによって誕生した大森十中は、昔は図書館だった記念館、体育館やプールなどを地域やＰＴＡの方々のご協力で完成し、次第に充実して今日にいたっています。間もなく五十周年を迎えます。

これからも、地域の学校として期待に応え、地域のコミュニティセンターとしての機能を果たしてまいります。

今年は、とても素晴らしい贈り物をいただき、ありがとうございました。私たちの喜びの気持ちをお伝えしたくて筆を執りました。

平成６年３月記
（前大森十中校長　榎本和男）

新体育館での球技大会

新体育館外観

受賞おめでとうございます

（敬称略）

▼平成五年度区政功労者
○民生委員
小島　知明（西自治会）
○区立保育園医
森山　正雄（西自治会）
○区立学校教職員永年勤続者
吉川　正弘（久原小学校長）
山口　裕子（西自治会）
○区立学校教職員功績顕著な者
小林　光子（南自治会）
○私立小中学校教職員
永年勤続者
齊藤　澄子（東自治会）
○その他区政功労者
浅井　時郎（西自治会）
中平　幸七（西自治会）
▼明るい選挙推進委員関係
○東京都永年功労表彰
大内　三郎（西自治会）
○大田区永年功労表彰
大内　三郎（西自治会）

2月／22日　新羽田空港見学会を終えて

青少対・ＰＴＡ会員など36名参加

前日の台風のような一日とは打って変わり、当日は見学会にふさわしい青空の広がったおだやかな日となりました。

この見学会は、青少年対策久が原地区委員会の皆さんのご尽力により催されたものです。とりわけ、空港グランドサービスにお勤めの永野さんのご協力により、貴重な体験をすることができました。

当日は、久が原青少対の皆さん、久が原地区明るい選挙推進委員の皆さん、大森十中・久原小・松仙小の各ＰＴＡの皆さん、合計三十六名の参加で、久が原駅を午前九時に出発しました。京浜急行線と東京モノレールの乗り継ぎは、とても便利になりました。

新羽田空港（通称ビックバード）は、テレビ等でも紹介されているとおり大変美しいビルです。出発・到着ロビーは各航空会社別に整然としており、中央の「ガレリア」と呼ばれるエリアは、多数の店舗・レストランでにぎわっています。全体的にとても明るく、華やかなビルです。また、屋上の展望デッキに立ちますと、千葉のビル群や富士山が望まれ、四方が一望できさわやかな気分に浸れます。

私たちは、次に日本航空客室乗員訓練所に参りました。ここは、スチュワーデスやパーサーを訓練する所で、「スチュワーデス物語」等、航空物のドラマのロケも行われるという説明もあり、興味深く見学しました。おりしも、卒業を迎える方々の訓練中でしたが、特別に見学を許され、厳しい訓練を経て実際の乗務に臨む緊張が、私たちにもひしひしと感じられました。その後社員食堂で昼食をとらせていただき、一休みしました。

最後は、日本航空機体整備場の見学です。一機のドッグ入りで、百人もの整備士の方たちが昼夜を通し交替勤務で携わるそうです。遠くで見ていると、さほど大きく感じなかった飛行機が、いざ目の前にしますととても巨大です。翼の上に立つ整備士さんが人形のように見えます。ここは、永野さんの職場ということもあり、とても詳しく、熱心にご説明をいただき、機械に弱い私にも興味深く拝聴できました。

午後三時三十分、すべての日程が終了いたしました。

本当に楽しい一日を過ごさせていただきました。次回は子どもたちと一緒に、空港を見学したいと思っております。

（松仙小ＰＴＡ　鰐川由紀子）

はじめまして、母子寮久が原です。
―引っ越してきました久が原に―

「母子寮」という耳慣れない言葉に、「何をしているところかな」と、皆様には関心をおもちのことと思います。

母子寮とは、十八才未満の子どもを養育している母子家庭が、生活上のいろいろな問題をかかえているため、子どもの養育が十分にできない場合、一時的に、母親と子どもが一緒に利用することのできる児童福祉施設です。定員は二十世帯で、現在二十人の母親と乳幼児十一人、小学生十九人、中学生三人の合計五十三人の方が入寮されております。

母子寮には、寮長以下八名の職員が二十四時間体制で勤務しております。母親が一日も早く自立できるように生活相談に応じる母子指導員や、子どもの健全育成のためにさまざまな活動を行う児童指導員等の専門的な職員もいます。子どもたちが明るく元気に、健康な生活ができるよう、職員一同、心掛けております。

また、地域の皆様に理解していただき、お役に立つために集会室の開放も計画しております。

最後に、一日も早く皆様の中に溶け込んでいきたいと思っておりますので、どうぞ、よろしくお願い申し上げます。

所在地　久が原2―3―22

（寮長　飯島　益美）

思い出の記
久が原喜楽会

お年寄りが自ら明るく、楽しく、健やかな日々を送るために、いっそうの親睦をはかろうと、有志が話し合いをすすめ、その当時の、自治会の役員のあたたかいご支援により発足しました。現在は、二代目会長の篠沢くにさんを中心に和気あいあいの楽しい集いが続けられています。

東京オリンピック後の目ざましい復興の社会に生まれ出た会だけに、昭和四十一年ごろの思い出は、当時を振り返るお年寄りには、常に懐かしく、つきることなく話に花を咲かせております。

いま、毎週、火曜日を定例に、八幡神社の社務所のお座敷で、踊り、民謡、カラオケなど、にぎやかに過ごすいっぽう、公園でゲートボールに腕を競うなど、多彩で、健康で、明るい安らぎを心ゆくまで楽しんでおります。

ちなみに、これらの成果は思い出も懐かしく、都や、区の催しでも腕を十分に発揮してそれぞれの賞をいただきました。

その一つ、平成四年五月、大田区民スポーツ大会で、ゲートボール入賞、また、同年九月、都知事から高齢者福祉増進の活動に多大な成果をあげたとして、励ましと賞状をいただいております。そのほか、慰安旅行や、地域の祭礼に協力参加した数々の思い出など、有志のお話は、いつつきることなく、笑いと感慨に時を過ごし、しみじみとしたあたたかさを味わいました。

さらに、三十周年をめざし、いっそうの繁栄を切に願うものであります。

（川又　浩）

第四十三回大田区子どもガーデンパーティー
ぜひおいで下さい
―親子で楽しめる一日に―

四十三回目になるガーデンパーティーは、今年もにぎやかに開催されます。

ぜひ、家族そろってご来場ください。

盛りだくさんのゲームやスポーツなどが楽しめます。

日時　四月二十四日(日)
　　午前十時～午後三時
会場　洗足池こどもひろば
内容　アスレチック・手づくりゲームコーナー
　　軽スポーツ・幼児コーナー
　　都立雪谷高校のブラスバンド演奏、チアリーダー演技もあります。

綱引きチーム選手募集中！
10月10日の区民スポーツまつりをめざし練習中

いっしょに綱引き大会で燃えてみませんか。

申し込み　徳富　朋子
電話　三七五四―九〇八二

綱引きチーム練習風景

久が原地区
ボウリング大会
にぎやかに開催される
3／26　池上トーヨーボール

久が原の街のちょっといい話
「花がおりなす心のふれあい」

それは昨年のことでした。桃の節句も過ぎたのに、その日はみぞれの降る寒い日でした。私は所用で外出し、北風に吹かれて凍えながら帰って来ました。部屋に入って最初に目に入ったのが可愛らしい花かごです。白い手のついた花かごに、フリージア、スイートピーなど明るい春の色いっぱいの花々があふれているのです。香りも豊かでした。

「まあ、この花どうしたの」寒さも忘れて思わず声をあげた私に、家人が説明してくれました。見知らぬ初老の紳士が、「いつもお宅の門前の花を楽しませていただいております。そのお礼に今度は私の育てた花をみていただきたいと思ってお持ちしました。どうぞお楽しみください。」というごあいさつを添えて届けてくださったというのです。

実は、私はいつも門前に花を置いていたのです。その理由はワンちゃんからの「贈り物」対策なのです。早朝の散歩のついでなのでしょうが、塀際の門の片隅ならまだしも、ときどき堂々と門扉の正面に盛りつけてあるのですから恐れ入ります。徹夜で見張って注意しようかと思うこともありましたが、そんな気持ちを押さえて、久が原の住人らしい対策を考えて、飼い主の美意識に訴える作戦を取ることにしました。つまり四季折々の花の鉢を門前に飾ることにしたのです。この作戦の効果の程はわかりません。やはり、時々ワンちゃんの「贈り物」が門前に並びますが、気のせいか頻度は減ったようにも思います。

ところが、この私の努力を別の意味で温かく見守ってくださっていた方がいたのです。花かごにあふれた明るい花々を眺めて私の胸はいっぱいになり、身も心もすっかり温かくなりました。いつかは門前の花が、ワンちゃんとその飼い主の方にも心を通じさせてくれるに違いないという確信を持つことができました。

久が原の街の一角で、私は今日も門前に花を飾ります。

（高橋　房子）

委員会からのお知らせ
―清掃事業に「指導協力員」制度発足―

新しいゴミの袋出しのルールが定着しつつあります。何よりも地域の皆様のご理解、ご協力のお陰です。

調布清掃事務所と調布清掃協力会は、さらにゴミの適正処理とリサイクル型都市づくりの推進のため、地域の皆さんのご協力をいただき、「指導協力員」制度を発足することとなりました。指導協力員は、地域の有志の方々によるボランティアとして、清掃諸事業へご協力いただくものです。久が原地区では三十八人の方が地域のためにご尽力くださることになりました。

清掃事業の推進について、地元のリーダーとして、左記のような活動に取り組んでいただきます。

一、ゴミ集積所の適正管理及び正しいゴミの出し方について指導及び啓発活動
二、清掃事務所及び清掃協力会に対する助言等

この制度は平成六年三月十六日から発足しております。

皆さんのご理解とご協力をお願いいたします。

【問い合わせ先】
東京都調布清掃事務所
電話　三七二一―七二一六

▼編集後記

○さくらは平和で明るく、どなたにも好かれる日本の名花です。

○この季節は、年度のまとめとはじめに当たり、活気に満ちております。

○情報紙「くがはら」もこの時期に、いっそうの充実をはかってまいります。どうぞ、皆様のご支援をお願いします。

（かわまた）